

令和6年度 表彰（功績賞、功労賞）の選考概要

本会は、令和元年度に策定した「JTA ビジョン」を踏まえ、令和3年度に「表彰制度」を設け、トンネル技術の発展に特に顕著な功績があったと認められる会員等に「功績賞」を、また本会の発展に特別の功労のあった会員等に「功労賞」を授与している。

令和5年11月10日から令和6年1月31日までの期間、令和6年度表彰の推薦を受け付けたところ、功績賞3名、功労賞2名の推薦があった。

推薦内容に関して、本会理事会で慎重に選考を行った結果、功績賞3名、功労賞2名の受賞者を決定した。

受賞者は、本会定時総会（令和6年6月6日（木）開催）において表彰した。

令和6年度受賞者

功績賞 3名

受賞者名	功績概要
西村 和夫	技術基準等の整備を通じて、日本のトンネル事業全般（建設から保全まで）の合理化、適正化に最新の知見で貢献した功績
中川 浩二	「臨床トンネル工学」を提唱し、山岳トンネルの合理的な建設に関する総合的な技術発展に寄与した功績
亀岡 美友	長年にわたり山岳トンネルの設計・施工技術検討などの各種委員会に幹事長、委員として参画し、トンネル技術の発展に貢献した功績

功労賞 2名

受賞者名	功労概要
宮本 雅文	トンネル技術の発展・伝承に貢献し、日本トンネル技術協会役員を長年務めた功労
トンネル技術者のための「地相」判読技術普及活動グループ	JTA 会員に向けたトンネル工事における地形・地質技術の重要性の理解と普及に向けた活動に関する功労